

建築生産系国際ワークショップ(ベトナムワークショップB)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年09月15日 ～2024年09月22日	ベトナム	交通運輸大学 トウクアブドゥル ラーマン・マネジメント&テク ノロジー大学	建築学科、建築学専攻 学部2～4年生、 修士1～2年生	(芝浦工業大学) 学生22名、 学生バイト2名、 教員2名 (交通運輸大学) 学生22名、 教員4名 (トウクアブドゥル ラーマン・マネジメント&テク ノロジー大学) 学生1名、 教員1名	志手 一哉(建築学科)、 蘆澤 宏剛(建築学科)



ワークショップの様子1

ベトナムのハノイにキャンパスを持つ交通運輸大学(UTC)にて、UTCのコンストラクションマネジメント学科の学部生22名と、芝浦工業大学の建築生産を専攻している学部生と大学院生が22名、マレーシアのトウクアブドゥルラーマン・マネジメント&テクノロジー大学(TAR UMT)の大学院生1名が合同で、建築生産系国際ワークショップを実施しました。ワークショップのテーマは、2024年8月に運行を開始したばかりのハノイ都市鉄道3号線のカウザイ駅周辺の10年後～20年後を「フューチャーデザイン手法」を用いて、公共交通指向型都市開発(TOD)のコンセプトで計画し、BIMソフトウェアでモデリングするというものでした。交通系が専門のUTCの学生と、建築が専門のSITおよびTAR UMTの学生が6つの混生チームを組成して、各々がアイデアを出し合って計画を練り、4日間のワークタイムで完成度の高いプレゼンテーションを行いました。成果発表会では、株式会社JR東日本設計、Vietnam Institute for Urban and Rural Planning、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル、3DエンジニアリングのBaezeni社から特別講演がありました。また、教員による評価により優秀賞を受賞したグループには、ハノイ都市鉄道管理委員会の副本部長から賞状が渡されました。ハノイ近郊の民族学博物館、古都ホールなども視察し、充実したグローバルPBLとなりました。



ワークショップの様子2



ワークショップの告知



成果発表会の様子1



成果発表会の様子2



集合写真



バイディン寺視察